

**2023年度（2024年3月期）  
第2四半期連結累計期間  
（2023年4月～9月）  
決算説明資料**

2023年10月25日  
FDK株式会社

進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために

© 2023 FDK CORPORATION

2023年度第2四半期決算概要について、ご説明いたします。

1. 2023年度第2四半期の業績	
2023年度第2四半期連結決算概要	3
営業利益変動要因（前年同期比）	4
連結貸借対照表	5
セグメント別情報	6
2. 2023年度（通期）見通し	9

今回ご説明させていただく内容です。

# 2023年度第2四半期連結決算概要

**FDK**

(単位：億円)

	2022年度 2Q	2023年度 2Q	前年同期比	
				増減率
売上高	317.3	302.4	△14.8	△4.7%
営業利益（△損失） （営業利益率）	6.7 (2.1%)	△0.7 (△0.3%)	△7.4 (△2.4pt)	-
経常利益 （経常利益率）	8.3 (2.6%)	1.3 (0.5%)	△7.0 (△2.1pt)	△83.8%
四半期純利益（△損失）※ （純利益率）	5.8 (1.8%)	△0.3 (△0.1%)	△6.1 (△1.9pt)	-

※親会社株主に帰属する四半期純利益

1株当たり四半期純利益	16.91円	△1.03円	△17.94円
-------------	--------	--------	---------

為替レート	(円/1USD)	131.58円	139.94円	+ 8.36円
	(円/1EUR)	138.20円	152.73円	+14.53円

ROIC※	1.0%	△1.2%	△2.2pt
-------	------	-------	--------

※ROIC = 税引後営業利益 / (自己資本 + 有利子負債)

※0.1億円未満切り捨て

© 2023 FDK CORPORATION

はじめに、連結決算概要です。

■ 電池事業の売上高はニッケル水素電池が国内の市販用途向けや海外の工業用途向けで売上減となったものの、リチウム電池が国内外のセキュリティ・スマートメータ用途向けで増加したことや設備関連ビジネスが増加したことから、事業全体として増収となりました。電子事業の売上高はスイッチング電源が増加しましたが、モビリティ・タブレット用途向け各種モジュールが減少したことや前期に実施したコイルデバイスの事業譲渡などによる売上減により、事業全体として減収となりました。

この結果、売上高は前年同期に比べ14.8億円減少の302.4億円となりました。

■ 営業利益は電池事業はニッケル水素電池の売上減や原材料価格高騰の影響、電子事業も売上減による影響が大きく、これらの影響を経費削減や販売価格の見直しで補いきれず両事業ともに減益となり、0.7億円の損失（前年同期は6.7億円の営業利益）となりました。

■ 経常利益は1.9億円の為替差益を営業外収益として計上したものの、前年同期に比べ7.0億円の減少の1.3億円となりました。

■ 四半期純利益は減損損失の計上や法人税等の計上により、0.3億円の損失（前年同期は5.8億円の四半期純利益）となりました。

■ ROICは前年同期に比べ2.2pt減の△1.2%となりました。

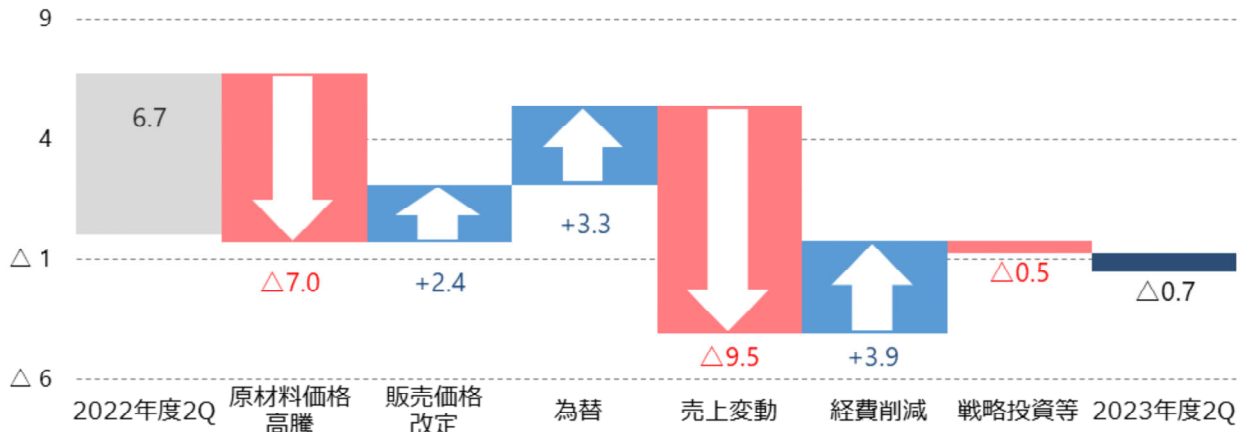
# 営業利益変動要因（前年同期比）

**FDK**

（単位：億円）

	2022年度 2Q	2023年度 2Q	前年同期比	
				増減率
営業利益（△損失） （営業利益率）	6.7 (2.1%)	△0.7 (△0.3%)	△7.4 (△2.4pt)	-

（億円）



※0.1億円未満切り捨て

© 2023 FDK CORPORATION

次に、営業利益の変動要因です。

■原材料価格高騰による減益影響がありましたが、販売価格改定により抑制しました。また、為替も好転影響がありました。

電池事業のニッケル水素電池や電子事業の各種モジュールの売上変動影響がありましたが、経費削減等で抑制しました。

しかしながら、すべての減益影響を抑制することができず、0.7億円の営業損失となりました。

# 連結貸借対照表

FDK

(単位：億円)

科目	2022年度	2023年度 2Q	増減	科目	2022年度	2023年度 2Q	増減
<b>流動資産</b>	318.2	335.9	+17.7	<b>流動負債</b>	309.2	318.5	+9.2
(受取手形及び売掛金)	(162.2)	(182.6)	+20.4	(短期借入金)	(121.4)	(137.6)	+16.2
(商品及び製品)	(29.6)	(31.2)	+1.6	(その他流動負債)	(23.5)	(18.7)	△4.7
(仕掛品)	(31.1)	(32.1)	+0.9				
(原材料及び貯蔵品)	(48.4)	(49.7)	+1.3				
(その他流動資産)	(21.3)	(14.0)	△7.2				
<b>固定資産</b>	153.0	151.5	△1.5	<b>固定負債</b>	30.0	28.1	△1.9
(有形固定資産)	(144.7)	(142.9)	△1.8	(退職給付に係る負債)	(19.8)	(18.0)	△1.8
				<b>負債合計</b>	<b>339.3</b>	<b>346.6</b>	<b>+7.3</b>
				<b>株主資本</b>	127.6	127.3	△0.3
				(利益剰余金)	(△451.1)	(△451.4)	△0.3
				その他の包括利益累計額	4.2	13.4	+9.1
				(為替換算調整勘定)	(18.2)	(25.5)	(+7.2)
				(退職給付に係る調整累計額)	(△14.3)	(△12.6)	(+1.7)
				<b>純資産合計</b>	<b>131.9</b>	<b>140.8</b>	<b>+8.8</b>
<b>資産合計</b>	<b>471.3</b>	<b>487.4</b>	<b>+16.1</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>471.3</b>	<b>487.4</b>	<b>+16.1</b>

自己資本比率	28.0%	28.9%	+0.9pt	有利子負債残高	122.2	138.3	+16.1
--------	-------	-------	--------	---------	-------	-------	-------

※0.1億円未満切り捨て

© 2023 FDK CORPORATION

次に、連結貸借対照表です。

■ 流動資産は、前年度に比べ17.7億円増加の335.9億円となりました。流動資産増加の主な要因は、未収入金などのその他流動資産が減少した一方、受取手形及び売掛金や商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品などの棚卸資産が増加したことによるものです。

■ 固定資産は、前年度に比べ1.5億円増加の151.5億円となりました。固定資産減少の主な要因は、有形固定資産が1.8億円減少したことによるものです。

■ 流動負債は、前年度に比べ9.2億円増加の318.5億円となりました。流動負債増加の主な要因は、設備未払金などのその他流動負債が減少した一方、有形固定資産の取得による支出などにより、短期借入金が増加したことによるものです。

■ 固定負債は、前年度に比べ1.9億円減少の28.1億円となりました。固定負債減少の主な要因は、退職給付に係る負債が1.8億円減少したことによるものです。

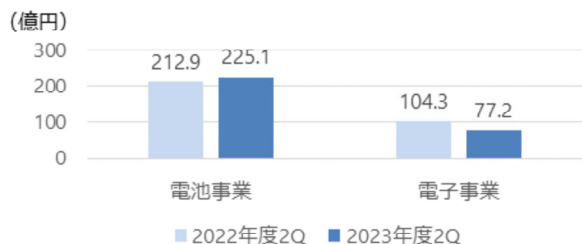
■ 純資産合計は、前年度に比べ8.8億円増加の140.8億円となりました。純資産増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が0.3億円減少する一方、為替換算調整勘定が7.2億円、退職給付に係る調整累計額が1.7億円、それぞれ増加したことによるものです。

■ 有利子負債残高は、主に借入金の増加により前年度に比べ16.1億円増加の138.3億円となりました。

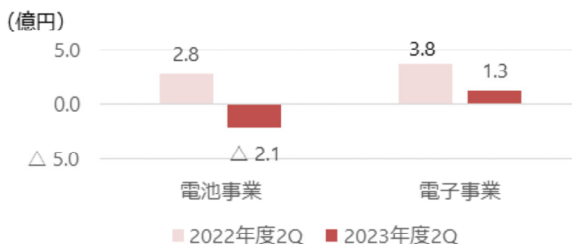
# セグメント別情報

FDK

## 売上高



## 営業利益



(単位：億円)

		2022年度 2Q	2023年度 2Q	前年同期比	
					増減率
電池事業	売上高	212.9	225.1	+12.1	+5.7%
	セグメント利益 (Δ損失) (率)	2.8 (1.4%)	Δ2.1 (Δ1.0%)	Δ5.0 (Δ2.4pt)	-
電子事業	売上高	104.3	77.2	Δ27.0	Δ25.9%
	セグメント利益 (率)	3.8 (3.7%)	1.3 (1.8%)	Δ2.4 (Δ1.9pt)	Δ63.7%
合計	売上高	317.3	302.4	Δ14.8	Δ4.7%
	営業利益 (Δ損失) (率)	6.7 (2.1%)	Δ0.7 (Δ0.3%)	Δ7.4 (Δ2.4pt)	-

※0.1億円未満切り捨て

© 2023 FDK CORPORATION

次に、セグメント別の情報です。

■ 電池事業の売上高はニッケル水素電池が減少したものの、リチウム電池と設備関連ビジネスが増加したことにより、前年同期に比べ12.1億円増加の225.1億円、セグメント利益は売上減や原材料価格高騰の影響により、2.1億円の損失となりました。

■ 電子事業の売上高はスイッチング電源が増加しましたが、各種モジュールが減少したことや前期に実施したコイルデバイスの事業譲渡などにより、前年同期に比べ27.0億円減少の77.2億円、セグメント利益は経費削減による利益増があったものの、売上減により前年同期に比べ2.4億円減少の1.3億円となりました。

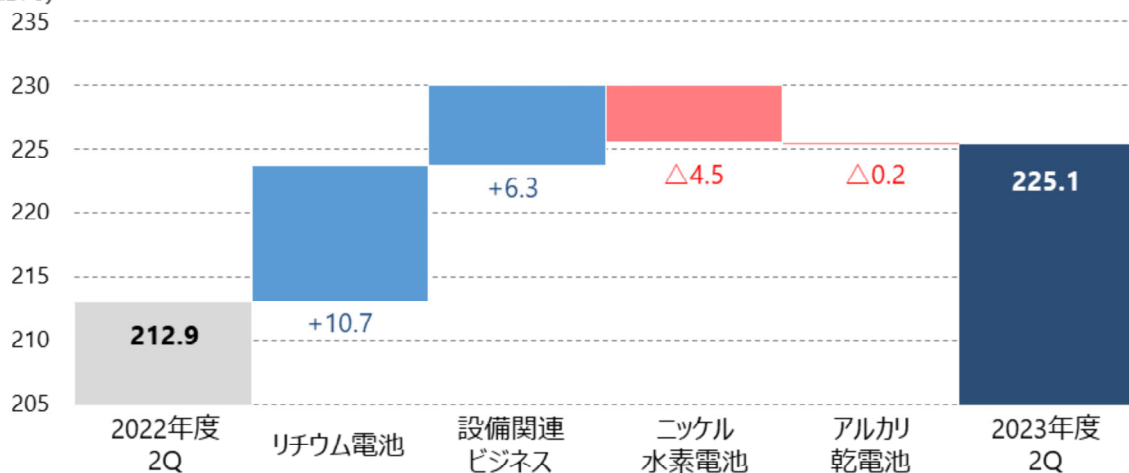
# セグメント別情報（売上概況） 電池事業

**FDK**

(単位：億円)

		2022年度 2Q	2023年度 2Q	前年度比	
					増減率
電池 事業	売上高	212.9	225.1	+12.1	+5.7%
	セグメント利益（△損失） (率)	2.8 (1.4%)	△2.1 (△1.0%)	△5.0 (△2.4pt)	-

(億円)



© 2023 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、セグメント別の売上概況です。

- リチウム電池は、国内外のセキュリティ・スマートメータ用途向けが堅調に推移したことや円安効果も加わったことにより、前年同期を上回りました。
- 設備関連ビジネスは、販売機種の変化などにより、前年同期を上回りました。
- ニッケル水素電池は、販売価格の見直しや円安効果もあったものの、国内の市販用途向けや海外の工業用途向けでの在庫調整や所要減により、前年同期を下回りました。
- アルカリ乾電池は、前年同期並みとなりました。

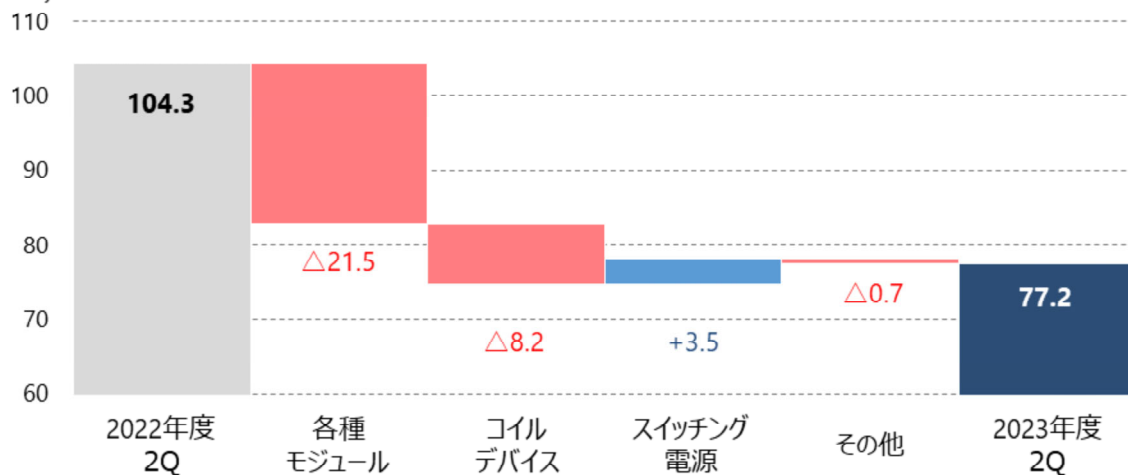
# セグメント別情報（売上概況） 電子事業

**FDK**

(単位：億円)

		2022年度 2Q	2023年度 2Q	前年度比	
					増減率
電子 事業	売上高	104.3	77.2	△27.0	△25.9%
	セグメント利益 (率)	3.8 (3.7%)	1.3 (1.8%)	△2.4 (△1.9pt)	△63.7%

(億円)



© 2023 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

続いて、電子事業については、

- 各種モジュールはモビリティ・タブレット用途向けが減少したことにより、前年同期を下回りました。
- スwitching電源は半導体装置用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。



## 2023年度（通期）見通し

**FDK**

（単位：億円）

	2022年度 （実績）	2023年度 （予想）	前年度比	
				増減率
売上高	627.8	650.0	+22.1	+3.5%
営業利益 （営業利益率）	7.8 (1.3%)	5.0 (0.8%)	△2.8 (△0.5pt)	△36.7%
経常利益 （経常利益率）	8.5 (1.4%)	4.0 (0.6%)	△4.5 (△0.8pt)	△53.0%
当期純利益※ （当期純利益率）	3.1 (0.5%)	1.0 (0.2%)	△2.1 (△0.3pt)	△68.6%

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	9.22円	2.90円	△6.32円
------------	-------	-------	--------

為替レート	（円/1USD）	135.07円	142.02円	+6.95円
	（円/1EUR）	140.84円	153.28円	+12.44円

※0.1億円未満切り捨て

© 2023 FDK CORPORATION

次に、2023年度の見通しです。通期連結業績予想は、2023年4月26日発表の公表値を据え置いております。

- 売上高は、650.0億円で22.1億円の増収。
- 営業利益は、5.0億円、純利益は1.0億円の見通しです。
- 為替レートは、1USDドル、142.02円、1ユーロ、153.28円を想定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位で表示しております。決算短信等で百万円単位で開示しております数値を切り捨て表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが不正確に見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または四半期報告書を参照していただきますようお願いいたします。

**FDK**

確かな技術 育てる未来